

よなごびと

| 第85回 |

四足走行ギネス世界記録保持者

りゅうせい Ryusei さん (米江 龍星 さん)

だらずな挑戦で

米子を盛り上げる！

Ryuseiさんは、「最も速い100メートル四足走行」のギネス世界記録保持者です。今年9月に、どらドラパーク米子陸上競技場で記録に挑戦し、従来の世界記録を1秒以上更新する、14秒55の世界新記録を樹立しました。

Ryuseiさんが四足歩行を始めたのは、中学2年生の頃。理科の先生の「二足の人間より、四足の動物の方が速い」という言葉をきっかけに、友人と一緒に試したのが始まりでした。「最初は四足で走る時の『タタン、タタン』というリズムが楽しく、新しい感覚。その頃は、100メートルの日本記録がまだ10秒台。でも、四足だったら10秒を切るかもしれないと思って」と、当時を振り返ります。

その後9年間、山や公園で四足歩行の練習に取り組んでいます。「これまでは隠れて練習をしたことも。記録達成の後は声を掛けられることが増えてうれしい」と笑います。

また、「来年は四足歩行の世界大会が米子で開かれる予定。僕も出場し、自分の世界記録を更新するので、僕に挑みたい人は大会に参加してほしい」と目を輝かせます。四足歩行の魅力は、「体全部で走っている感覚を味わえるところ」だと言い、今後については、「プロのアスリートとして地元を盛り上げていきたい。米子を代表する『だらず』として、これからも全力疾走します」と意気込みます。今後も四足歩行で、人類最速をめざして挑み続けます。

だらずな挑戦でも夢が見られると知ってもらえたらうれしいと話す



記録挑戦時は、競技場に集まったたくさんの方の応援が力になったそう

